（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	チャレンジまなびや　つばい

公表日　R7 年 4 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	・プレイルームと学習室を置くことで目的に応じたスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		・日々の活動では十分だが、行事など無理が動きする時で足りないことがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の処理等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や視覚伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2		・現在通所している利用者にとって環境のバリアフリーには足りているが、車椅子の利用者が来たときには移動が困難である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・グループ活動や一人遊びなど多様にわたるおもちゃを用意している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・クールダウンが必要なときに使えるスペースを用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	2		・職員間で利用者の目標などを確認し合う時間を確保する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・意見を反映させ、整備の見直しなどを行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・定期的にミーティングを行って意見を聞き・改善する機会を作っている。	・意見を出しても全てが改善されない場合がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		・第三者の外部評価を受けていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	3		・開催されているのが定期である。
関係機関や保護者との連携	11	適切に支援プログラムが作成・公表されているか。	3	1		・作成されて支援計画を共有する時間を増やす。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を明確化した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・モニタリングの結果や聞き取りを元に計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関する職員が広く参画する機会を作っているか。また、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1		・計画について職員で共通理解する時間を多く作る。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	2		
	15	こどもの通過行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを活かしインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	・支援の目録を用いて利用者の状況などを確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、及び「地域支援・地域連携」で挙げられる項目を踏まえるなかで、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	2		・「家族支援」について聞き取りなどを増やす必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・立案したものをチームにおろし、確認し合っている。 ・管理者を中心に月毎の活動を計画したカレンダーを掲示し、効果的・効率運営を行う計画を立てようしている。	・節節にわたる立案性がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・行事などは積極的に参加するようにプログラムを立っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・集団活動が多くなるやすい利用者いるが・個別活動の時間も確保している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1		・行事や戸外活動の際は打ち合わせを行っているが・利用者が少ないときは行えていないことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	・管理者を中心に担当の利用者の情報を共有している。	・時間の関係で・できる日とできない日がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・記録をこどもミーティングを行い定期的にスーパービジョンを受けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1		・見直しの機会を作る必要がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「５つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4			・「本人支援」「地域支援・地域連携」はたりているが、「家族支援」「移行支援」は課題である。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・活動の内容などは利用者と相談をし・自己決定する機会を増やしている。	
関係機関や保護者との連携に関する取組	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を上手連携した者が参画しているか。	4		・相談員が管理者・サビ管から情報を聞き出して会議に臨んでいる。	
	27	地域の保健・医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		・必要時に医療機関と協力し合う体制が課題である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・こどもの下校時の確認等）、通園調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・保護者を通じて日頃の記録を確認するとともに送迎時に利用者の情報や注意事項などを伝達している。	
	29	医学的に判別していると保育所や幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	・必要に応じ・保護者を通じて行っている。	
	30	学校を卒業し・放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合・それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		・ケース会議などに出席し・関係機関との情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り・必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		・児童発達支援センターにスーパーバイズを受ける機会を持つことを必要と考える。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や・地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	・「多世帯ふれあい夜宴」に参加し地域の子どもたちと食事などをしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い・こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・送迎時や電話連絡などで利用者の状況などを共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から・家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加する研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		・研修の機会などは当に機能できていないが・個別に強引に少って機能に取り組むことがある。
児童発達支援の提供	36	運営規程・支援プログラム・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重・こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・計画を作成する際に相談の記録を活用している。	
	38	『放課後等デイサービス計画』を示しながら支援内容の説明を行い・保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	1		・計画作成時に保護者に確認を取っているが説明をする機会が少ない。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ・面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・必要に応じて面談等を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや・保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また・きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		
	41	こどもや保護者からの苦情について・対応の体制を整備するとともに・こどもや保護者に周知し・苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・苦情などについては職員が対応し・代表者に伝達できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや・HPやSNS等を活用することにより・活動概要や行事予定・連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		・定期的な更新が少ない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・個人情報については鍵付きの部屋に保管し・自由には閲覧できないようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	1	・電話連絡や来校時間などを通じてコミュニケーションを取っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等・地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	・保護者を招いての行事を開催している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル・緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアル等を策定し・職員や家族等に周知するとともに・発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに・非常災害の発生に備え・定期的に訓練・教育その他必要な訓練を行っているか。	4		・避難訓練は実施している。	
	48	事故に・職員や予防接種・てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1	・職員が必要な利用者は・ファイルに記録しまとめている。	
	49	薬物アレルギーのあるこどもについて・医師の指示書に基づく対応がとれているか。	4		・マニュアルを手に取れるところに保管し・対応の仕方についても共有している。	
	50	安全計画を作成し・安全管理に必要な研修や訓練・その他必要な措置を講じる等・安全管理が十分とれた中で支援が行われているか。	3	1		・安全管理についての研修を実施する必要がある。
	51	こどもの安全確保に関して・家族等との連携が図られるよう・安全計画に基づく取組内容について・家族等へ周知しているか。	3	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し・再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・事後に管理者に報告している。	
	53	虐待を防止するため・職員の研修機会を確保する等・適切な対応をしているか。	2	2		・虐待についての研修機会が必要である。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて・関係者に決定し・こどもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で・放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	2		・身体拘束についての研修が必要である。